

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束、スピーチロック等精神面・心理面の拘束について具体的な内容の理解が低く、自覚が薄いことが課題である。	・認知症の理解、介護技術の向上を図り、お一人おひとりの生活を支えて行く。 ・職員のストレスの軽減や感情コントロールできる能力を高める。	①勉強会の開催 ②職員会議、ミーティングでの話し合い ③外部研修への参加 ④職員間の親睦を深める。	12ヶ月
2	23	1対1の会話(関わり)を大切にし、本人の思いを感じるように心がけている。できる限り本人の思いにそって支援しているが、共同生活の中で、本人の満足する支援が十分できないのが課題である。	・日常生活の中で、本人の思いを傾聴し、お一人おひとりの価値観、大切にしていること等を大切に关わるよう努める。	①対人援助技術、コミュニケーション技術の向上に向けた学習。 ②傾聴の学習。 ③ことば遣いについての意見交換や助言。 ④ケアプラン、アセスメントシート、モニタリングの周知。	12ヶ月
3	2	日々地域の人々と接する機会を持ち、日常的な交流を大切にしているが、まだまだ地域とのかわりが少ない。地域の行事に参加したり、ホームで行う行事への参加を呼びかけ、積極的に取り組んでいく必要がある。	地域の人にホームで行う行事の参加を呼びかけ、一人でも多くの参加者を増やす。	①買物、散歩時のあいさつ、地域での行事の参加は継続する。 ②ホームの行事、避難訓練時の参加を呼びかける。 ③ボランティアさんの依頼。	12ヶ月
4	35	年2回消防署立ち会いのもと実施しているが、災害時、冷静な判断の中、避難誘導ができるか不安な職員が多い。ホーム独自の訓練が定期的に行う必要がある。	・年2回、避難訓練(消防署立ち会い)実施 ・地域の防災訓練参加 ・ホーム独自年2回避難訓練の実施 例)車椅子避難	①ハート職員も含め全員が災害時に対応できるよう図っていく。 ②地区の自主防災訓練への参加。 ③ホームでの避難の際困難なこと、不安なことを出し合い、一つひとつ工夫できる方法を実践しながら検討していく。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。